

昭和61年度  
自然公園施設整備事業  
六呂師高原水車小屋

— 六呂師高原に新しい名所 —

## 懐かしい水車がお目見え

この程六呂師スキー場のふもとに、昔懐かしい水車小屋が完成しました。

小屋は丸太造りで、内部にはわらかち用の胴突き2本のほか、米かち用の胴突き1本と粉引き用の石うすがあります。

水車は直径が2.1mで、パイプで引いてきた清流を受けて静かに回る光景は、のどかな高原の風情が感じられます。

隣りには炭焼き小屋も完成し、体験学習にも利用できるとともに新しい観光の名所にもなりそうです。



# 市政をきく

## 代表・一般質問から

### 市長の政治姿勢について

問 市長は当選以来、各方面で多くの抱負と将来の計画等について述べているが、市民はそれらを任期中に実現をしてもらえると思っている。

ところで今回、最初の自前の子算を組んだ次第であるが、経済の低迷の中で緊縮型の編成になっている。この編成に当たっては何を最重点施策に置いたのか。

答 豊かな自然を守り、未来を築く入づくりと産業起しを根幹におきながら、活力ある大野の建設を目指して活性化対策に全力を挙げて取り組みたい。

予算編成に当たっては観光開発水資源対策、学校建設、産業の振興、企業誘致などを重点的に措置を図った。

また、緊縮型ということであるが、この度新しく当選された議員各位の意見や、4月の機構改革に伴う新しい課長の考え方等を十分聴きながら対応するつもりであり



この程整備された“宝慶寺いこいの森、の林業振興センターの前庭

その余力も残してある。

### 行政の効率化の推進について

問 行政の効率化を実行性のあるものにするためには、管理職の掛け声だけではなく、全職員の意識革命とモラルの向上が不可欠であり、職員が常に高い倫理感を持って行政サービスの充実を目指すことが大切である。

職員の能力や無限の可能性を引き出すため、提案制度を設けてはどうか。

3年余り続いた大課制を見直し新年度からは以前のような小課制に戻るが、各課相互間の応援態勢はどのようになるのか。

答 職員の自由な発想や積極的な提言は、行政の効率化や住民サービスの向上のために必要であるから、職員提案制度を進めたい。

また、研修専門委員会（仮称）を設置して、職員の資質向上、能力開発を推進するため計画的・継続的に研修を行いたい。

機構改革に伴う各課相互間の連携については、職員の応援に関する要綱を決めて有機的かつ円滑に推進させたい。

## 議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第二号	昭和六十二年大野市一般会計予算案	原案可決
第三号	昭和六十二年大野市国民健康保険事業特別会計予算案	"
第四号	昭和六十二年大野市老人保健特別会計予算案	"
第五号	昭和六十二年大野市簡易水道事業特別会計予算案	"
第六号	昭和六十二年大野市南部第二土地区画整理事業特別会計予算案	"
第七号	昭和六十二年大野市農業集落排水事業特別会計予算案	"
第八号	昭和六十二年大野市水道事業会計予算案	"
第九号	行政機構の改善に伴う関係条例の整備に関する条例案	"
第十号	大野市一般職の職員の勤務時間に関する条例案	"
第十一号	大野市一般職の職員の有給休暇に関する条例案	"
第十二号	大野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	"

## 市内の活性化対策 について

**問** てっとり早い活性化対策は観光であると思うが、その目玉である「観光物産センター」の建設は見送られた。

当市の国道周辺には観光バスの駐車場や公衆便所、物産売場等が全くないので、このセンターはどうしても必要だと思う。よい方策はないのか。

また、恵まれた自然を生かして内水面漁業に力を入れ、釣り客の誘致を図ることは実現可能と思うが、どうか。

亀山の登り口に鎖が掛けてあるが、当市のシンボルである大野城を多くの人々に見てもらうために車で登れるようにできないか。

**答** 奥越広域観光ルートの中核基地として、第三セクターで建設・運営するホテル部門を併設した観光物産センターを計画したが、経済情勢が悪化したために民間からの出資が不可能となり、見送らざるを得なくなった。

なんとか市単独事業として中間的な施設でもできないかと目下検討中である。



名水百選に指定された御清水



大野のシンボル越前大野城と亀山公園

清滝川流域の漁業権は大野市漁業組合が持っており、稚魚の放流や管理、取り締まり等を行っている。最近では清滝川のほか、西谷や打波地域にも釣り客が入り込み乱獲されているので、漁業組合に監視をお願いしている。

亀山公園の開発については全体的に計画を見直して検討したい。

## 観光行政について

**問** 当市は「北陸の小京都」といわれるように碁盤状の整然とした町並み、伝統の朝市、風光明媚の大野城

名水百選に指定された御清水など観光資源に恵まれ、他市に引けを取らないと思うが、施設等が不備なため観光客は通過してしまう。

幸い昨年末、「新生大野市観光協会」が民間主導で設立されて気運が高まってきているが、今後の対応について伺いたい。

**答** 観光行政は活力ある町づくりのため大変大事だと思っている。

昨年12月に市民総参加の観光協会が設立されて、観光に対する認識も深まってきている。今後は相互の連携を密にして、観光資源の



開発や観光客誘致拡大を図りたい。

また、越前大仏の落慶に合わせて有意義なイベントを催されないか関係者にも要請をしている。

## 下水道事業の今後の 見通しについて

**問** 第二次大野市総合計画では62年度で公共下水道の調査と計画をし、64年度着工の予定になっている。これを実現するため2年前に企業管理部を設置したが、何ら前進していないのではないか。

当市は豊かな地下水に恵まれているが、この地下水に影響を及ぼさないようにするため、広く学者や技術者、または先進地等の意見を採り入れ、十分な研究を進めて当市に見合った下水道工法を採る必要があると思うが、どうか。

**答** 近年、簡易浄化槽が普及しており、なんとかして下水道を設けなければならないと思う。終末処理場用地確保のためこれまで地係の方々をお願いしてきたが、昨年後半からは話し合いに応じてもらえなくなってしまった。

今後も協力が得られるよう努力を続け、一、二年のうちには終末処理場用地のメドを立て、下水道第五次計画の最終年の64年までには計画だけでも作成したい。

## 市政企画と推進方向 について

**問** 政治と企画は理事者と議会が一体となって推進するのが当然であるが、今日は市の職員が行政のみならず市政企画に手腕を発揮できる役所づくりが必要だと思う。

職員の能力開発をどのように進めるつもりか。

**答** 4月に行う機構改革は「職員の企画」に期待して行うものである。職員は適材適所に配置し、それぞれの構想や意見をどんどん吸い上げていきたい。

## 行革予算の中の 人づくりのあり方について

**問** 教育こそ最大の投資的事業だと思うが、これは決して学校の建物などのような形の見えるものではなく、人の心を生き生きさせるためのシンクタンクを教育の中に持ち込むものでなければならない。

人生80年の時代を迎え「市民一人一研究」という精神風土を強化しなければならないと思うが、生涯教育に対する計画を伺いたい。

公民館や有終会館など、社会教育の現場で教育機器の整備が遅れているが、今後の予定を伺いたい。

**答** 生涯にわたっての学習を進め



有効利用を図りたい間伐材



機器センターに設置されている近代的な教育機器

るため「いつでも、どこでも、だれでも」進んで学習ができる態勢づくりに努めており、各年代に応じた能力開発のために学習の機会が持てるよう心掛けたい。

感動のある社会教育を進めるためには教育機器の導入も大切であるが、予算的な制約もあり、それぞれの公民館への導入はむずかしいので、61年度から「機器センター」を設置し、集中管理方式による効率的な運用を図っている。

## 農林業振興について

**問** 大野の里芋は全国的に知られたり、市場でも高く評価されているが、昨年は年末になって市場でだぶつき値崩れが生じた。集荷の時期的な問題やPR不足があったのではないか。

今後、加工や貯蔵の技術向上を図る必要があると思うが、どうか林業の間伐材は、今のところ雪囲い用の材料にしか使用されていないようであるが、民芸品のなものに利用できないか。

**答** 大野の里芋は県内では相当有名であるが、全国的シェアから見るとわずか2%にしかならないた

め、価格等の面から他の特産地に對抗できる実力はないと思われる。

市としても15アール以上作付をした方に補助をするため、1,200万円の子算を計上した。

今後、面積の拡大を図るとともに販売にも手伝いをしたい。

間伐材の利用については現在模索中であるが、後は国・県と協議をしながら名案をみつけないか。

## 教育行政について

**問** 子供たちをより良い環境の下で健全に育成することは社会の責任である。しかし、安心して遊べる場所が少ないため、貴重な時間を家の中で過ごす子供が多い。

戸外でカー杯スポーツをすることによって、健全な心身を築くため児童専用グラウンドが必要であると思うが、なんとかならないか。

**答** 県営総合公園の中で多目的なグラウンド構想を進めていく方が緑もあり、また、いろんな施設が入るので子供たちには喜ばれるのではないかと思う。

健全な教育を行うためには、当然スポーツ施設が必要であるので全力を挙げて取り組みたい。

### 教育委員会の 会議録について

問 情報公開の要求が高まっている今日であるが、教育委員会の会議は公開制なのか。また、会議録の閲覧請求があった場合は、これに応じられるのか。

答 教育委員会の会議は公開を原則としているが、委員の過半数の同意があれば非公開とすることもできる。従って公開部分については閲覧することができる。



消防庁舎移転候補地になっている有終会館南側

### 消防庁舎の移転について

問 今年の予算で消防庁舎移転候補地の調査費が計上されているが移転時期はいつごろなのか。

また、市役所周辺の公共用地の利用計画についても検討したいとのことであるが、その見通しについて伺いたい。

答 消防力を充実し市民生活の安定を図るために、目下本市としては消防庁舎の移転が緊急の課題で

あると思慮している。本年度は地質調査などを実施して庁舎の建設位置を決め、63年度で建設したい。

また、公共用地についてはプロジェクトチームを編成して、市有地をはじめ借地をも含めた全体の利用計画を見直したい。

特に、消防庁舎の移転先として有終会館の敷地内の南側約4,000平方メートルを予定しているのをこれを含めた市役所周辺の公共施設の張り付け計画を急ぎたい。

### 大高移転と 跡地利用について



問 大野高校の移転について、市長は「早期実現を図るよう努力したい」と述べているが、同校周辺の町内会や隣接する商店街等では反対の意見が多いと聞く。今後どのような方法で住民のコンセンサスを得るつもりか。また、跡地利用計画についても伺いたい。

と述べているが、同校周辺の町内会や隣接する商店街等では反対の意見が多いと聞く。今後どのような方法で住民のコンセンサスを得るつもりか。また、跡地利用計画についても伺いたい。

答 現在の大野高校は高校教育の場としては環境は大変良いが、敷地は3万平方メートルに満たず、県内最少の規模であり、体育の向上や教育面から考えると狭すぎる。

移転については正式な要請を受けているので、今後積極的に取り組むたい。

跡地については県とも十分協議しなければならないが、既設の体育館や一部使用可能な校舎もあるので、大野のシンボルである亀山とその周辺の開発を含めた利用計画を62年度中に決定したい。

この問題は周辺商店街のコンセンサスを得ることが大切であるので、将来の大野市のあり方等を考えながら慎重に対応したい。

### 請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願1号	スポーツ振興基金の設立について	大野市体育協会 会長 吉田隆太郎 外8名	採 択
請願2号	特別養護老人ホーム（痴呆老人専門施設）の建設促進の働きかけについて	社会福祉法人光明寺福祉会 理事長 一乗公博	採 択
請願3号	市道と区内道の総合整備改良について	深井区長 畑中幸雄 外18名	継続審査
請願4号	小山公民館前広場の確保について	小山地区区長会長 永田正元 外5名	採 択
陳情1号	市道拡幅について	菖蒲池区長 石田 稔	採 択
陳情2号	国民の食糧を守り農業再建に関する意見書提出について	大野市農業協同組合 組合長理事 大藪原 登 上庄農業協同組合 組合長理事 橋本祝男	採 択

委員長に奥村、幅口氏

二特別委員会を設置

交通対策と水行政対策

国道157号線・158号線の整備促進と越美北線の存続を図るため交通対策特別委員会を、また、上下水道事業の促進を図るために水行政対策特別委員会を設置しました。メンバーは次のとおりです。(◎は委員長、○は副委員長)

●交通対策特別委員会

◎奥村 忠光、○金森 幸蔵、林順一、雨塚 忠夫、西川 文人、推井 清男

●水行政対策特別委員会

◎幅口 登、○野田幾久代、佐々木一夫、松井 治男、藤田 護、山口 忠男

監査委員に金森氏

議会選出の監査委員に金森幸蔵議員(中野町一丁目、61歳)の選任に同意しました。

60年度歳入歳出決算を認定

第227回臨時市議会が1月21日招集され、前回の定例会から閉会中の継続審査となっていた「議案第66号 昭和60年度大野市歳入歳出決算認定について」は、決算特別委員会の審査報告があり、委員長報告のとおり認定しました。意見・要望の主なものは次のとおりです。



市営住宅使用料の滞納整理について

これまで機会あるごとに指摘してきた問題であるが、特に長期にわたる滞納者や特別の事由によって徴収不能と思われる者については、その実態を的確に調査・把握して債権の保全に努めるとともに、保証人も交えてよく話し合い、完納に向けて最善の努力をすべきであるとの強い意見が述べられた。

一般会計からの繰出金について

企業会計の場合経済性よりも公共性が強調される傾向にあるため、不採算となることは

理解できるが、今後は経済性の観点からも十分検討して、単に赤字補填的な考え方で安易に一般会計から繰り出して、公営企業の独立採算性の趣旨を損なわないようにすべきであるという、強い意見が述べられた。

道路敷地・河川敷地に対する借地料について

これについては、その公共性・永続性からみて、早急に買取すべきであるとの再三の指摘にもかかわらず、依然として意見が反映されていないとの強い不満が述べられた。

昭和60年度大野市歳入歳出決算書総括表

(単位:円)

Table with 5 columns: 会計区分, 予算現額, 歳入決算額, 歳出決算額, 差引残額. Rows include 一般会計, 国民健康保険事業特別会計, 老人保健特別会計, 簡易水道事業特別会計, 南部第二土地区画整理事業特別会計, and 合計.

# 委員会報告

## 委員長報告から

### ●建設委員会

#### ①水行政について

南部第二土地区画整理事業は70%近くが完成しているが、将来の水行政を考えると、当然、この区域に水道管を敷設すべきである。

4月から発足する水資源対策課が中心となって上・下水道の必要性を理解してもらえよう努力すべきであるとの強い意見が述べられた。



急がれる市民グラウンドと有終会館を含めた市役所周辺の公共施設の配置計画

### ●総務委員会

#### ①消防庁舎建設調査費について

消防庁舎建設の候補地として有終会館敷地の一部を予定しているが、この敷地はグラウンドや体育館をはじめ、利用率の高い会議室等があり、その整備も望まれているところであるので、調査前に市役所周辺の総合的な公共施設の配置計画を立てるべきであるとの強い意見が集中した。

#### ②「大野を考える会」(仮称)につ

いて

市長の私的な諮問機関として「大野を考える会」を設けるとのことであるが、既設の審議会や委員会との連絡調整を十分に図り、支障を来たしたり屋上屋を架すようなことにならないようにすべきであるとの意見が述べられた。

### ●教育民生委員会

#### ①窓口事務の時間延長について

共働きや職場の関係で諸証明の窓口業務の時間延長を望む声が多いので、検討しようとの意見が述べられた。

#### ②教育行政について

社会教育に対する人件費や活動費が削減されており人づくり、地域づくりに重大な支障を来たすので改善を強く要望した。

#### ③体育行政について

体育館の建設については未だメド

が立っていないので、早急に具体的な建設計画を立て市民に示すべきであり、さらに、現在行っている学校体育館の開放時間の延長を検討しようとの、強い意見が述べられた。

#### ④福祉対策について

高齢化社会がいち早く進んでいる当市にとって、老人介護に対する取り組みが急務であるが、これに婦人の能力を生かしたヘルパー制度の充実を図るべきであるとの意見が述べられた。

### ●産業経済委員会

#### ①観光行政の推進について

活力と魅力ある町づくりのためには観光行政を推進することが重要であるが、新年度予算面には意欲的な措置が講じられておらず、具体的方策に乏しいと不満が述べられた。

#### ②農業後継者対策について

農業後継者対策事業として結婚相談所を開設しているが実績が上がっていない。さらに一步前進した措置を講ずるべきであるとの意見が述べられた。



時間延長が望まれる窓口業務